「別紙」 熊野筆検定 84 問題

「熊野筆ジュニアマイスターをめざせ!!」

最後のページの解答用紙を切り取って検定にチャレンジしてみよう。

解答用紙の裏の解答を見て自己採点してください。 80 問以上の正解者には、熊野高校より「熊野筆 ジュニアマイスター」の称号が与えられるのだ。



| 熊野筆ジュニ | ニアマイスター | 80 問以上正解 |
|--------|---------|----------|
| 熊野筆検定 | 1級 | 70 問以上正解 |
| 熊野筆検定 | 2 級 | 60 問以上正解 |
| 熊野筆検定 | 3 級 | 45 問以上正解 |



「熊野筆ジュニアマイスターをめざせ!!」

※制限時間 50 分

問題は全て三択です。A、B、C、いずれかの記号で答えなさい。

問題1

現在の熊野町で筆作りが行われ始めたのは何時代といわれているでしょう。

A 平安時代

B 鎌倉時代 C 江戸時代

問題 2

江戸時代、熊野の人たちは、主にどういったところに出稼ぎに行き、どこで筆や墨を仕入 れていたのでしょう。

- A 江戸(東京)に出稼ぎに行き、帰りに鎌倉や京都で仕入れていた
- B 吉野(奈良県)や紀州(和歌山県)に出稼ぎに行き、奈良・大阪・兵庫で仕入れていた
- C 四国に出稼ぎに行き、高松で仕入れていた

問題3

熊野の人たちに筆作りの技術が伝わったのはなぜでしょう。

- A 熊野の若者が筆づくりを学びに行き、熊野に戻って技術をひろめた
- B 奈良や兵庫から技術者を招いた
- C 仕入れた筆を研究し、独自に筆づくりの技術を確立した

問題4

熊野から、はじめて筆の技術を学びに「佐々木為次」が有馬に行った時の年齢はいくつだ ったでしょう。

A 13 歳

B 15 歳 C 17 歳

問題5

明治時代に入り、日本全国で筆の需要が増えた理由はなんでしょう。

- A 明治に入って農民が豊かになり、筆を買い求めるようになったから
- B 蒸気機関車や汽船など、輸送手段が拡大し筆を大量に出荷できるようになったから
- C 明治政府が新しい学校制度を制定したことで子供たちが学校で筆を使うようになっ たから

問題6

明治10年(1877年)、筆作りの技術が向上し生産量も増えた熊野筆が、日本全国に知られて いくようになったきっかけはなんでしょう。

- A 国内の博覧会に出展され、熊野筆が入賞した
- B 熊野筆が皇室御用達の品に選ばれ、献上された
- C ラジオ放送が始まり、熊野筆が全国に紹介された

日本全国で筆の需要が伸びる中、東京、大阪、奈良などでは筆づくりの伝統産業が衰え始 めました。そんな中、熊野筆が発展していった主な理由はなんでしょう。

- A 国から筆づくりのための援助が出されたから
- B 熊野からほど近い呉市が軍港として栄えたため
- C 熊野には新しい産業が入ってこなかったので、筆づくりの技術向上に努めたから

問題8

熊野筆は発展していきましたが、第二次世界大戦が勃発する勃発する3年前の昭和 11 年、 熊野筆の年間生産本数はどのくらいだったでしょう。

A 約35万本

B 約 500 万本 C 約 7000 万本

問題9

第二次世界大戦が勃発し、太平洋戦争が始まると、熊野の筆作りはほとんど出来なくなり ました。その主な理由はなんでしょう。

- A 筆を作るための原材料が入りにくくなったから
- B 近代化により万年筆が普及したから
- C 熊野が爆撃されたから

問題 10

戦争が終わってもすぐには筆の生産が回復しませんでした。それはなぜでしょう。

- A 優秀な職人を戦争で失ったから
- B アメリカ占領軍の命により、学校教育から習字教育がなくなったから
- C 工場が戦争で破壊されたから

問題 11

戦後、筆の需要が減った熊野では、何の生産に活路を見出そうとしたのでしょう。

A 化粧筆 B 櫛 (くし) C ボールペン

問題 12

昭和30年代に入り、落ち込んでいた熊野の筆の生産が回復し始めたのはなぜでしょう。

- A 有名人が熊野筆を使い、トレンドになったから
- B 絵画用の絵の具筆が海外で売れたから
- C 学習指導要領に毛筆習字が取り入れられたから

問題 13

昭和50年(1975年)に熊野筆にとって大きな出来事がありましたが、それはなんでしょう。

- A 書道筆の生産数で、ギネスブックに載った
- B 熊野筆が伝統的工芸品に指定された
- C 広島東洋カープの初優勝の記念品に指定された

熊野筆の統一ブランドマークはアルファベットの一文字をかたどっています。それはなん でしょう。

A 熊野の頭文字K B 筆の頭文字F C 伝統工芸士の頭文字D

問題 15

熊野筆の統一ブランドマークは黒、黄、赤の3色でデザインされています。黒は「書」、黄 は「画」を表現していますが、赤は何を示しているでしょう。

A 硯

B 紙 C 化粧

問題 16

平成20年、筆の里工房の筆文化支援事業により熊野町のキャラクターが誕 生しました。さて、そのかわいらしいキャラクターの名前はなんでしょう。

A ふでたろう B ふでぴょん C ふでりん

問題 17

ふでりんの現住所は熊野町役場内となっていますが、ふでりんはそれ以外 にも別荘も持っているそうです。それはどこでしょう。

A 筆の里工房の筆箱 B 榊山神社の賽銭箱 C 熊野高校生徒会室

問題 18

ふでりんもおすすめの、熊野町のご当地グルメはなんでしょう。

A とろとろモツ煮込み

B もちもちふでりん焼きそば

C ふわふわ納豆焼き

問題 19

熊高生が熊野化粧筆を独自にデコレーションして文化祭などで販売した筆の名前は、どれ でしょう。

A 恋筆 B 愛筆 C 萌筆

問題 20

熊野筆の中で、ある特定の用途に使うために研究、開発され、近年日本の文化が世界中 で評価される上で重要な役割を果たした筆があります。この筆の用途はなんでしょう。

A 陶芸作品の絵付け

B アニメーションの背景制作

C フィギアの着彩

国内外に熱烈なファンを多く持つ、青森県生まれで熊野筆にゆかりの深い世界的板画家は 誰でしょう。

A 山下清

B 高村光雲 C 棟方志功

熊野町では「(一財)筆の里振興事業団」の主催で「ありがとう」をテーマに作品を募集し、 平成9年から全国規模の作品コンテストを開催しています。海外からも作品が応募され、1 万作品以上もの作品が集まるこのコンテストは、なんのコンテストでしょう。

A 絵でがみ B 書初め C 水墨画

問題 23

平成22年9月に熊野町にオープンした「筆の街交流館」の愛称はなんでしょう。

問題 24

筆づくりを行う職人さんで、毛筆で一番大切な穂首の部分を作る方々をなんと呼んでいる でしょう。

A 筆作師 B 筆司 C 伝統筆士

問題 25

経済産業省が指定した伝統的工芸品の産地で、(一財)伝統的工芸品産業振興協会から認め られた、筆づくりの長い経験と高い技術を持つ人をなんと呼ぶでしょう。

A 人間国宝 B 伝統筆司 C 伝統工芸士

問題 26

筆づくりの伝統工芸士に認められるためには、筆記試験、実技試験(実際に筆を作る試験)、 熊野筆作品の審査に合格することと、もう一つ条件があります。それはなんでしょう。

A 35歳以上、50歳未満であること

B 筆づくりの経験が12年以上であること

C 筆の作成本数が1000本以上であること

問題 27

伝統工芸士は筆づくり以外にもさまざまな役割があります。次の中で該当しないのはどれ でしょう。

A 熊野町の発展に努力しなければならない

B 年に一回、海外に行って熊野筆をアピールする義務がある

C 熊野筆の仕事をしている人たちに筆作りを教えたり、後継者を育てなければならない

問題 28

平成25年現在、活躍されている伝統工芸士の方は何人でしょう。

A 9人 B 18人 C 22人

熊野町では町民の何割の人が筆づくりに携わっているでしょうか。次の中で、最も近いの はどれでしょう。

A 約1割 B 約2割 C 約3割

問題 30

熊野町の筆まつりに関わりの深い日本三筆の一人は誰でしょう。

A 嵯峨天皇 B 空海 C 橘逸勢

問題 31

第1回筆まつりが開催されたのは、いつのことでしょう。

A 大正10年 B 昭和10年 C 平成10年

問題 32

第2回筆まつりで初めて披露された踊りの名前はなんでしょう。

A 能野踊り

B 筆踊り

C 小唄踊り

問題 33

小唄「筆まつり」の作詞家で、童謡界の三大詩人の一人と謳われた人は誰でしょう。

A 北原白秋

B 西條八十 C 野口雨情

問題 34

筆まつりで、筆への感謝と共に、筆づくりのために毛を提供して くれた動物達の供養と、書道の上達を願って火の中に筆を焼納す る催しを何というでしょう。

A 筆浄火 B 筆供養

C 筆感謝



問題 35

筆まつりの見どころのひとつで、まつりの当日、町を廻る船は何と呼ばれているでしょう。

A 筆の都船

B 貴船

C 彼岸船

問題 36

昭和40年(1965年)9月に榊山神社境内に建立された「筆塚」の題字は広島県出身の元総 理大臣が書いたものです。誰が書いたものでしょう。

A 池田勇人 B 田中角栄 C 小泉純一郎

問題 37

昭和53年(1978年)の筆祭りから榊山神社の参道や鳥居に筆が吊 りさげられるようになりました。この通りの名前はなんでしょう。

A 百本の筆通り

B 一千本の筆通り

C 一万本の筆通り



筆まつりの大作席書で使われる特別な布の大きさはどれ くらいでしょう。

A 10畳

B 15畳

C 20畳



次の語群から言葉を選び、「穂首を作る」工程の()を埋めて、記号で答えなさい。

A 寸切り B 選毛・毛組み C 衣毛巻き

工程① 問題 39 ()

工程② 火のし、毛もみ

工程③ 毛そろえ

工程④ 逆毛・すれ毛取り

工程⑤ 問題 40 ()

工程⑥ 練り混ぜ

工程⑦ 芯立て

工程(8) 問題(41())

工程⑨ 糸締め

問題 42

筆を作るには、実際には無数の工程があります。熊野町の筆まつりで歌われる小唄では筆 づくり(穂首づくり)の工程をいくつと歌っているでしょう。

A 51 工程

B 73 工程 C 108 工程

問題 43

筆づくりの最初の工程はなんでしょう。

A 毛を選別し、組み合わせる作業 B 毛をカットして揃える作業

C 毛に含まれる油を抜く作業

問題 44

「火のし、毛もみ」は毛を真っ直ぐに伸ばす工程ですが、もう一つの重要な役割はなんで しょう。

A 毛の脂肪分を適度に抜く B 毛をもんでやわらかくする

C 毛の間に空気を入れてふくらませる

問題 45

「火のし、毛もみ」の作業で毛にまぶす灰は、ある特別な材料からできています。この灰 は何から作られているでしょう。

A 藁 (わら) B 籾殻 (もみがら) C 畳表 (たたみおもて)

| 日日 | 日石 | 10 |
|----|----|----|
| 旧 | 記 | 40 |

火のしをあてた後、毛を巻く革は何の動物の革でしょう。

A 鹿

B 狸

C 馬

問題 47

「毛そろえ」とは、何を意味するのでしょう。

A 糊付けをして筆の形をそろえる

B 毛をたたいて毛の太さをそろえる

C 毛に櫛をかけて毛先をそろえる

問題 48

経済産業大臣指定「伝統的工芸品熊野筆」として認められるには、「寸切り」の工程で、あ る道具を使わなくてはいけません。その道具とはどのようなものでしょう。

A 毛の長さを一定にするための定規 B 毛を切るための裁断機

C 毛先を整えるためのナイフ

問題 49

問題48で問われた「寸切り」で使う道具をなんというでしょう。

A 火のし B 半差し C 寸木

問題 50

「練り混ぜ」で使う糊は何から作られているでしょう。

A 米

B 海藻

C 松やに

問題 51

芯立てで穂首を差し込み、穂首の太さをそろえるための筒状の道具をなんというでしょう。

A こま B たこ C 平目通し

問題 52

筆の一番外側に巻きつける上質な毛をなんというでしょう。

A 毛筆

B 飾毛

C 衣毛

次の語群から言葉を選び、「軸づくり」工程の()を埋めて、記号で答えなさい。

A 穂首の接着基部を軸に付ける B 軸みがき C 軸を注文の長さに切断する

工程① 軸を選ぶ

工程② 軸の曲りを真っ直ぐに直す

工程③ 問題 53 ()

工程④ 長さを整えてから、穂首のつく反対側に部品を装着する

工程⑤ 軸の太さにあわせて工程④の部品を削る

工程⑥ 問題 54 ()

工程⑦ 工程④で接着した部品にかけひもをつける

工程⑧ 問題 55 ()

「軸づくり」工程②で、軸の曲りを直すために使う道具の名前はなんでしょう。

A ため木 B 竹定規

C 差し金

問題 57

「軸づくり」工程②で、軸の曲がりを直すためになにをするでしょう。

A 火で温める B 水につけておく

C 酢につける

問題 58

「軸づくり」工程4050で加工する、穂首の反対側 につける部品をなんというでしょう。

A オツ Bトツ

C コツ



問題 59

「軸づくり」工程⑥で使うのは次のうち何でしょう。

A 油 B 蠟(ろう) C 麦わら

問題 60

「軸づくり」工程⑧の、軸の先に付ける穂先の接着基部を、 一般的に、なんと呼んでいるでしょう。

A だるま

B ずんどう C こぶし

※この部品を使わない筆もあります。



次の語群から、「筆づくり最後」の工程の()を埋めて、記号で答えなさい。

A くり込み

B 銘彫刻

C 銘込み

工程① 問題 61 ()

工程② 仕上げ

工程③ 問題 62 ()

問題 63

「筆づくり最後」の工程で、「仕上げ」のとき、不必要な糊をしぼりだすのにどのような方 法を利用しているでしょう。

- A 指先で形を整えながらしぼり出す
- B 糸を巻きつけて筆を回転させながらしぼりとる
- C 筆の形の型にはめて圧力をかけてしぼり出す

「筆づくり最後」の工程③で使う道具は何でしょう。

A 三角刀

B 半刀

問題 65

次のうち、「伝統的工芸品熊野筆」の条件としてあてはまるものはなんでしょう。

- A 毛を混ぜるには「練り混ぜ」技法によること
- B 火のしには必ず鹿の革を使うこと
- C 芯立てに使う「こま」は石から削り出したものを使用すること

問題 66

次のうち、「伝統的工芸品熊野筆」の条件として正しいのはどれでしょう。

- A 広島県安芸郡熊野町で製造された筆以外は「伝統的工芸品熊野筆」を名乗れない
- B 熊野町出身者であればどこで製造しても「伝統的工芸品熊野筆」を名乗れる
- C 経済産業大臣の認可があれば日本全国で「伝統的工芸品熊野筆」は作れる

問題 67

次のうち、「伝統的工芸品熊野筆」の条件としてあてはまるものはなんでしょう。

- A 猫の毛を使ってはならない B 地元産の材料を50パーセント以上使うこと
- C 軸の材料は、竹または木とすること

問題 68

熊野筆の材料で、熊野町で産出しているものはなんでしょう。

- A 軸に使う竹
- B 火のしに使う鹿の革
- C 熊野町では材料は産出されていない

問題 69

筆の穂先の最も大切とされる毛は何と呼ばれているでしょう。

A 命毛 B 衣毛

C 軸毛

問題 70

胎毛筆とはなんでしょう。

A 羊の毛で作った柔らかい筆

B ペットの毛で作った筆

C 赤ちゃんの産毛で作った筆

問題 71

玉毛筆とはなんでしょう。

A 猫の毛で作った筆

B 馬の毛で作った筆

C カピバラの毛で作った筆



左の写真は、ある鳥の羽を使用して作った特殊な筆です。こ れは、なんという鳥の羽から作られた筆でしょう。

- A インコの羽で作った筆
- B ホロホロ鳥の羽で作った筆
- C オナガ鳥の羽で作った筆

問題 73

太筆によく使われる、「天尾(あまお)」とは、何の尾の毛をいうでしょう。

- A キジ B ウマ C キツネ

問題 74

世界一の大筆は、日本のどこに展示してあるでしょう。

- A 東京国立博物館
- B 雄勝硯(すずり)伝統産業会館
- C 筆の里工房

問題 75

この、世界一の大筆に使われている毛の量はどのくらいでしょう。

- A 馬の尾 100 頭分 B 馬の尾 150 頭分 C 馬の尾 200 頭分

問題 76

筆の里工房の大筆の下に展示してある、巨大な硯(すずり)の原石は、雄勝硯で有名な硯 の生産量全国1位の雄勝(おがつ)という町から寄贈されたものです。この雄勝地区は何 県にあるでしょう。

- A 宮城県
- B 福島県 C 長野県

問題 77

雄勝から筆の里工房に寄贈された硯石は、一般書道用の硯、何個分にあたるでしょう。

- A 約 2000 個分 B 約 3000 個分 C 約 4000 個分

問題 78

書道で欠かすことのできない「筆・墨・紙・硯」の名産地である4市町で、2年に1度、ま つりが開催されています。このまつりをなんというでしょう。

- A 文房四宝まつり B 書道具四天王まつり C 書道伝統工芸まつり

問題 79

日本で唯一国から伝統的工芸品として指定されている「墨」は、次のうちどれでしょう。

- A 三重県鈴鹿市の鈴鹿墨 B 奈良市の奈良墨 C 京都市の京墨

熊野筆が、筆として初めて国から伝統的工芸品の指定を受けた年に、「和紙」として初めて 伝統的工芸品の指定を受けたのは次のうちどれでしょう。

A 和歌山県の高野紙 B 福井県の越前和紙 C 鳥取県の因州和紙

問題 81

墨を数える時の単位は、ある食べ物と同様の言い方をします。その食べ物はなんでしょう。

A 食パン B 豆腐

C かまぼこ

問題 82

書初めを行うのは、通常何月何日でしょう。

A 1月1日 B 1月2日

C 1月3日

問題 83

筆にまつわることわざで「弘法も筆の誤り」と同様の意味を持つのは次のうちどれでしょ う。

A 清水の舞台から飛び降りる B 猿も木から落ちる C 猫に小判

問題 84

「弘法筆を選ばず」と同様の意味の、海外のことわざは次のうちどれでしょう。

- A He has long arms and a long tongue as well.
- В shoot Niagara.
- The cunning mason works with any stone.

検定問題は以上です。ごくろうさまでした。



平成25年「第79回 筆まつり」 大作席書 熊野高校書道部制作

熊野筆検定84解答欄

| 1 | | | <i>/</i> 1117 = | -, - | _ /// | , | ,,, | — 1143 | | |
|------------|-----|---|-----------------|-------|-------|----|-------|--------|----|-------|
| | | | 解答 | チェック欄 | | 解答 | チェック欄 | | 解答 | チェック欄 |
| İ | 問題 | 1 | | | 問題29 | | | 問題57 | | |
| | 問題 | 2 | | | 問題30 | | | 問題58 | | |
| | 問題 | 3 | | | 問題31 | | | 問題59 | | |
| ! | 問題 | 4 | | | 問題32 | | | 問題60 | | |
| İ | 問題 | 5 | | | 問題33 | | | 問題61 | | |
| <u> </u> | 問題 | 6 | | | 問題34 | | | 問題62 | | |
| - | 問題 | 7 | | | 問題35 | | | 問題63 | | |
| ! | 問題 | 8 | | | 問題36 | | | 問題64 | | |
| • | 問題 | 9 | | | 問題37 | | | 問題65 | | |
| | 問題1 | 0 | | | 問題38 | | | 問題66 | | |
| | 問題1 | 1 | | | 問題39 | | | 問題67 | | |
| 切り | 問題1 | 2 | | | 問題40 | | | 問題68 | | |
| 取 り | 問題1 | 3 | | | 問題41 | | | 問題69 | | |
| | 問題1 | 4 | | | 問題42 | | | 問題70 | | |
| | 問題1 | 5 | | | 問題43 | | | 問題71 | | |
| | 問題1 | 6 | | | 問題44 | | | 問題72 | | |
| į | 問題1 | 7 | | | 問題45 | | | 問題73 | | |
| ! | 問題1 | 8 | | | 問題46 | | | 問題74 | | |
| İ | 問題1 | 9 | | | 問題47 | | | 問題75 | | |
| į | 問題2 | 0 | | | 問題48 | | | 問題76 | | |
| | 問題2 | 1 | | | 問題49 | | | 問題77 | | |
| | 問題2 | 2 | | | 問題50 | | | 問題78 | | |
| ļ | 問題2 | 3 | | | 問題51 | | | 問題79 | | |
| | 問題2 | 4 | | | 問題52 | | | 問題80 | | |
| į | 問題2 | 5 | | | 問題53 | | | 問題81 | | |
| İ | 問題2 | 6 | | | 問題54 | | | 問題82 | | |
| i | 問題2 | 7 | | | 問題55 | | | 問題83 | | |
| | 問題2 | 8 | | | 問題56 | | | 問題84 | | |

| 得点 | 等級 | | |
|----|----|--|--|
| | | | |

・ 裏面に回答があります。
①まず、この点線を折り返してください。

②次に、この点線を折り返して採点してください。

熊野筆検定84解答

| 1 C 2 B 3 A 4 A 5 C 6 A 7 C 8 C 9 A 10 B 11 A 12 C 13 B 14 A 15 C 16 C 17 A 18 C | | | 29 A 30 A 31 B 32 B 33 C 34 B 35 C 36 A 37 C 38 C 39 B 40 A 41 C 42 B 43 A 44 A 45 B 46 A 47 C | | | 3 | | |
|--|---|---|--|---|--|----|---|--|
| 1 | С | | 29 | Α | | 57 | Α | |
| 2 | В | | 30 | А | | 58 | С | |
| 3 | Α | İ | 31 | В | | 59 | В | |
| 4 | Α | | 32 | В | | 60 | Α | |
| 5 | С | | 33 | С | | 61 | A | |
| 6 | Α | | 34 | В | | 62 | В | |
| 7 | С | | 35 | С | | 63 | В | |
| 8 | С | | 36 | А | | 64 | A | |
| 9 | Α | | 37 | С | | 65 | А | |
| 10 | В | | 38 | С | | 66 | A | |
| 11 | Α | | 39 | В | | 67 | С | |
| 12 | С | | 40 | А | | 68 | С | |
| 13 | В | | 41 | С | | 69 | A | |
| 14 | Α | | 42 | В | | 70 | С | |
| 15 | С | | 43 | Α | | 71 | Α | |
| 16 | С | | 44 | Α | | 72 | В | |
| 17 | А | | 45 | В | | 73 | В | |
| 18 | С | | 46 | А | | 74 | С | |
| 19 | С | | 47 | С | | 75 | С | |
| 20 | В | | 48 | А | | 76 | A | |
| 21 | С | | 49 | С | | 77 | С | |
| 22 | Α | | 50 | В | | 78 | Α | |
| 23 | В | | 51 | А | | 79 | А | |
| 24 | В | | 52 | С | | 80 | С | |
| 25 | С | | 53 | С | | 81 | В | |
| 26 | В | | 54 | В | | 82 | В | |
| 27 | В | | 55 | Α | | 83 | В | |
| 28 | С | | 56 | Α | | 84 | С | |
| | | | | | | | | |



「熊野筆検定」制作にあたり参考にしたホームページ

- ・筆の里工房 ・熊野筆事業協同組合 ・熊野筆【松月堂】 ・熊野町 ・「筆の街交 流館 K-JIN」 ・筆まつり ・ひろしま観光ナビ ・故事ことわざ辞典 ・ウィキ ペディア ・誕生記念の胎毛筆(赤ちゃんの筆) ・呉竹墨の美術館
- ・みんなの知識ちょっと便利帳「ものの数え方」 ・奈良製墨協同組合 ・雄勝硯伝統 産業会館 ・笑顔咲くたび伊達な旅・全国和紙産地マップ全国手すき和紙連合会

参考文献

・熊野町商工観光課パンフレット ・筆の町熊野(京都書院)

制作協力、助言

- ・熊野筆事業協同組合 ・熊野町商工会 ・筆の里工房 ・熊野町商工観光課
- ・郷土史研究家 梶矢祥弘氏 ・イ方古堂 ・松月堂 ・竹宝堂 ・広島木軸

制作 広島県立熊野高等学校生徒会

